

本時の目標

自分の生き方、社会のあり方をきっかけとして、未来のエネルギーの使い方について考える。

指導のポイント

ワークシートにより学習を進めるが、拡大して掲示(プロジェクターによる投影等)することが効果的。  
話し合い活動を通して、環境に対する多様な考え方を知ることができるようにする。

本時の展開

	学習内容・活動	指導上の留意点および支援の工夫
導入 10分	1. 自分の生き方  社会のあり方  ワークシート記入を行う。 他の生徒の発表を聞く。	※ ○は教師発問  ○今日は、未来のエネルギーの使い方を学習します。 ○ワークシートを配ります。 ・Q1は自分の生き方です。どちらが良いか選び、理由を書いてください。 (2分後、挙手で確認 それぞれの選択理由を数人発表) ・Q2は社会のあり方です。どちらが良いか選び、理由を書いてください。 (2分後、挙手で確認 それぞれの選択理由を数人発表)
	社会には技術発展や自然共生など、いろいろな価値観がある ※ 板書・掲示	
展開 30分	2. エネルギーの使い方 (1)この単元の流れを理解する。 (2)自分の考えをシートに記入する。  (3)班の意見をまとめ、模造紙(画用紙)に要点を記入する。  (4)代表者の発表 各班の代表者の発表を聞き、自分の考えとは違う新たな視点に気づくことができる。	○ワークシートの裏側を見てください。 表はこれまで学習してきた主な発電方法の長所と短所です。表を参考に、Q3の未来のエネルギーの利用、Q4のソーラー王国やまなしの実現について、自分の考えをワークシートに記入してください。(5分間)  ○ここから、班で意見交換してもらいます。いろいろな考え方がありますが、班としての意見が作れるように話し合いを行ってください。話し合いの後、各班の意見を発表してもらいます。( 分)  ※論点の補足 Q3では、どのようなエネルギーの組み合わせがよいのか Q4では、技術開発、環境施策(国・県の取り組み)、社会整備(インフラ等)の課題や可能性  ○それでは、各班の意見を発表してもらいます。  ※生徒の新しい発想(視点)をとりあげる。 ※省エネ(エネルギーの節約)は私たちが簡単にできること
確認 10分	5. まとめ	○Q5私たちにできることを記入してください。 (挙手により、数人が発表)  ○今回の環境学習で伝えたかったこと
	(1)エネルギーと日常生活(社会)との係わり合いを理解 (2)エネルギーの最適な組み合わせ(ベストミックス)が重要 (3)日頃からエネルギー環境分野に興味を持ち、エコ活動を実践 → これからの未来社会を創造、継続は力(エネルギー)なり	
	※まとめ Q3から(1)へ Q4から(2)へ Q5から(3)へ ※ 板書・掲示	